



児童養護施設 合掌苑 〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田 674
電話 0575-79-2914 FAX 0575-79-3584

子どもが育つ良い環境

合掌苑苑長 山口薫

時の流れは速いものでもう今年度も残りわずかとなりました。寒さも一段と厳しくなりましたが、おかげさまで子どもたちは毎日元気に登校しています。

先日、児童福祉施設の交流サッカー大会では強豪を相手に、見事準優勝という成績でした。これもひとえに普段に地域のスポーツ少年団でご指導していただいているおかげだと思います。合掌苑で生活する子どもたちは地域のみなさまのかかわりの中で育てられているのだと考えています。

夏には新しい仲間が2名増え、今年の野外活動は、伊吹山登山と海水浴セットというハードな体験をし、ソフトボール大会、三日里親、一時帰省と忙しく夏休みを終えましたが、事故なく9月を迎えることができました。9月には運動会、体育祭が執り行われ、普段の苑生活では見えない姿を見ることができました。暑い中、転校したばかりの子どもも一生懸命走る姿が印象的でした。また中学生の合唱祭は見事な歌声に感動しました。子どもたちは自分に合った活躍の場があるとこんなにも成長するのだと改めて感じました。



伊吹山山頂にて

このように子どもたちが確実に成長していくため合掌苑にはどんな役割が求められているのでしょうか。私は「安全で安心して生活できる場所として子どもの生活を支えていくこと」だと考えています。その実現のため、合掌苑では試行的にかやの実館、福祉館を使って、小グループケアを実施しています。将来子どもたち一人ひとりが自立していくために必要なきめ細かい援助を目的として生活しています。その中では様々な変化が見られます。例えば、一人でお米を洗ってご飯が炊けるようになったこと、また人数に合わせてお米の量を考えられるようになったことなど、生活を通してできることが増え、考えて調節できるようにもなりました。口で何度も言うこと以上によい体験の中にこそ、学び成長していく大切なものが含まれていると教えられました。反面、リーダーの子どもの生活感覚がグループ全体の生活に大きく影響する、一度関係ができてしまうと変えることが難しいという課題もあります。職員として、子どもたちが自分の人生を生きていくための力を確実につけることができる良い環境としての合掌苑の生活づくりを目指したいと考えます。今後とも保護者の方や地域の皆様をはじめとして、多くの皆様のお力添えを得て子どもにとってよい環境としての合掌苑を考え取り組んでいきます。ご支援のほどよろしくお願い致します。

☆平成 24 年前期の取り組み☆

<進学・就職>

今年度から中学生の希望者が地域の学習塾（長良塾）へ通塾するようになりました。いろんな経験を積んで学力だけでなく一回り大きい人間に成長してほしいものです。また、昨年に引き続き進学・就職支援についてアクティ(株)と協力して、いろいろな情報・アドバイスを頂きながら高校 3 年生を中心に支援をしました。卒業してからの将来を真剣に考える良い機会となっています。

<苑整備>

清水みらい教育福祉基金の補助で福祉館児童居室のエアコンを 5 台設置しました。また、CBC チャリティ募金の補助で本館 TV 室のエアコンを 2 台設置しました。本当にありがとうございました。今後は本館の夏の暑さと雨漏り対策に取り組む予定です。

<児童・職員の動き——H24・4～11>

- ①入所児童————— 3 名（高 2 女子 1 名・小 3 男子 1 名・小 3 女子 1 名）
- ②ショートステイ—— 受け入れ数 6 組 11 名
- ③退職職員————— 常勤職員男子 1 名（9 月末）
- ④採用職員————— 非常勤職員（10 月より福祉館とかやの実館へ）
管理宿直用員として、男性 1 名・女性 3 名

* H24・12・1 現在の在苑措置児童数

31 名（幼児 3 名・小学生 10 名・中学生 9 名・高校生 9 名）

☆心理療法ってなに？☆

合掌苑では、一昨年の 12 月から苑内で臨床心理士による個別の心理療法を始めました。

心理療法と言われるものには、実はいろいろな形があるのですが、今、合掌苑では、主にプレイセラピーとカウンセリングと呼ばれるものを行っています。

プレイセラピーは、主に言葉で自分の気持ちや考えを伝えることが難しい子どもたちに使われる方法です。“箱庭”と呼ばれる砂が入った箱に人形などを入れて遊んだり、心理士と一緒にゲームやトランプをしたり、時には絵を描くこともあります。こうしたいろいろな遊びを通して、子どもたちが今の心境を表現してくれるのです。



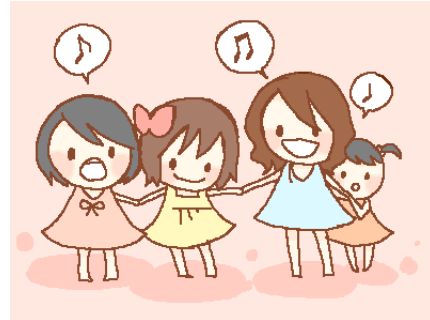
カウンセリングルーム

“遊び”には、創造性や共感性など大切な感情を育てる要素が詰まっています。しかし、安全で安心できる環境でないと自由な発想で遊ぶことはできません。大人でも“自分の行動がどう思われるだろうか？”と考えると萎縮してしまい思ったように振る舞えませんが、子どもたちも同じです。“自分の行動を善悪で評価されない”空間を保障することが、心理療法ではとても大切なことであり、心理士の役目なのです。



プレイルーム

カウンセリングでも、心理士が子どもたちの話す内容を善悪で評価せず共感的に受け入れることで心の中のモヤモヤしたものを吐き出し、整理してもらうことを目指しています。そうした普段とは違う特別な空間を作ることで、子どもたちに親と離れて集団で生活する中で感じるストレスを少しでも解消してもらえたらと思っています。



平成24年前期 合掌苑行事



20日 がらくた市



地域との交流を通して児童福祉を理解して頂くこと、また東日本大震災の復興を支援することを目的として第22回がらくた市を開催しました。今年も晴天に恵まれたたくさんの人たちに来て頂き大盛況となりました。フリーマーケットも様々な食べ物屋さんもたくさんの人で賑わい売りが続出、目玉の陶器市も大好評で開店前からお目当ての陶器を探そうと人だかりができていました。また、今年ふれあい動物園を復活させ、子どもから大人までいろんな動物たちと楽しく遊んで頂くことができました。

そしてたくさんの方のご協力を頂きました東日本大震災のための募金活動では198,617円もお金が集まりました。このお金は郡上市の社会福祉協議会を通じて震災支援のために使われます。

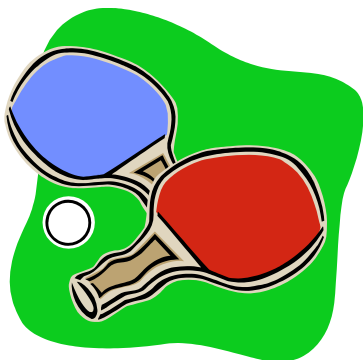
また、今年も好評のうちに終わることができたのもボランティアの方々にご協力頂いたおかげです。ありがとうございました。

来年は今年よりも楽しいがらくた市を目指して、開催できたらと思っておりますので是非楽しみにしててください。





30日 施設交流卓球大会



合掌苑では毎年行われるこの大会に向けて、施設を挙げて練習し、例年優勝や準優勝など好成績を残してくるのがもはや伝統となっています。大会が近くなると毎晩卓球台を3台並べ、さながら卓球クラブのような熱を帯びています。今回も参加した子どもたちが一生懸命頑張った結果、中学生男子個人の部で優勝、団体戦では準優勝という好成績を収めることができました。合掌苑のこの伝統を守るべく、来年に向けて今後も練習に励んでいきます。



30.31日 全体旅行

今年の年に1度の旅行は1泊2日で滋賀県・福井県方面へ行ってきました。1日目は伊吹山の登山に挑戦。本格的な登山で道のはかなり陰しく、文句を言いながらも頑張って登る子どもたち。3時間半もかかって山頂に到着すると、そこに待っていたのは今までに味わったことの無いくらいおいしい空気と素晴らしい景色。忘れられない夏の思い出となりました。その後移動中のバスでは、起きている子がいないほど皆疲れ切った様子だったのが印象的です。2日目は福井県で海水浴をしました。昨日の疲れなど微塵にも感じさせないほど大はしゃぎ。よく泳ぎ、よく遊びました。子どもたちの体力には感心するばかりです。海なんて入らないと言っていたのに結局入って誰よりもはしゃぐ女子高生や、海の魚を観察し続ける男の子など楽しみ方はそれぞれのようで、見ているほうも楽しい充実した時間でした。



7日 施設交流ソフトボール大会



夏の暑い日が続く中、今年もソフトボール大会が開催されました。小学4年生から中学3年生までの子どもで構成したチームで、他の施設さんに負けないう練習にも力が入ります。当日も天気良く、真夏の太陽が降り注ぐ中、計3試合行いました。結果は1勝2敗で賞には手が届きませんが、子どもたちは精一杯頑張り来年こそはと闘志を燃やしていました。



8日 幹の会

毎年、卒苑生や旧職員が集い合掌苑の思い出話や近況を報告し合う、幹の会が執り行われます。今年も在苑児や現職員を交えて総勢 100 名ほどが集まり、懐かしい顔ぶれと再開を喜ぶ声を上げ、手に負えなかった子が社長になった話や、父親になった出産したなどのおめでたい話に驚き、みんなの成長した姿が見られた会となりました。美味しい食事を食べ、全員で白熱したビンゴゲームを行い、最後に合掌苑の苑歌を歌いました。今では知っている子どもはほとんどなくなってしまいましたが、行事の度に必ず歌ったものだなど思い返しなが



また会えることを約束して 1 日限りの幹の会も終わり。合掌苑を巣立って行った子どもたちに幸多かれと、大きく手を振り見送りました。



23日 感謝の日

今年は防災訓練として地震時の火災についての勉強会と、東北へボランティアに行った職員から地震の怖さを話してもらいました。

- ・火災になった時に、どうやって逃げるのか。
- ・防火の為に、自分たちができること。
- ・これからの地震に備え、避難や対処について

いつ自分達が遭遇するかもしれないと想定し、皆で一緒に考えることができました。今回、火災・地震について学んだことが、きっと役立ち、子どもたちの命を守ってくれると思います。



勉強のあとは奉仕活動。例年は、日頃の感謝を込めて地域のゴミ拾いを行っていますが、今年はいにくの雨模様のため、苑内を大掃除することにしました。普段はやらない場所も、子どもたちと一緒に掃いたり拭いたり…お世話になっている建物へ奉仕をすることで、いつもの生活空間が、より綺麗に過ごしやすくなりました。

午後は小学校の体育館を借りて、子ども・職員みんなでレクリエーション。小中学生の子は職員相手にバレーボールにドッジボールにバスケットボール、雨の日でもたくさん体を動かして遊びました。幼児さんもペットボトルボウリングや玉入れなど普段はできない遊びを職員と一緒に楽しみました。



〃 温かい心 〃

(平成 24 年 4 月～平成 24 年 11 月)

合掌苑の苑児たちに沢山の方々から、温かいご支援を賜りました。略儀ながら紙面にお名前を掲載して御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

EXILE ATSUSHI	FC岐阜	浅井文雄	安藤忍	安藤大河	安養寺
伊藤千鶴	永昌寺	円空事業推進委員会		小椋千秋	小沢三夫
小関さゆり	カネコ小島陶器(株)	加納義正	蒲真知子	釜ヶ滝パーベキューセンター	
粥川廣之	河村一成	郡上市小中学校事務職員組合		国田祐子	熊谷常雄
熊崎京子	幸兵衛窯	小酒井悦郎	小酒井美朗	小坂直樹	小島達夫
小杉智興子	後藤直久	小林まゆみ	小見山政孝	坂井守雄	坂本由紀夫
坂祝町社会福祉協議会		佐野康雄	澤村いづみ	澤村則男	島川かおり
下田子ども会	親切会中部支部	鈴木美好	全国シャンメリー協同組合		曾我真理子
曾根幹男	タイガーマスク基金	大容スポーツ	高砂会	滝茶屋 小森毅	田口悟
田口登	谷口浩治	土屋栄二	長尾千之	中島久美子	名古屋市丸山
浪岡育子	畑佐和昭	畑中和己	八幡町民生児童委員		羽生紀恵
晴れ着の丸昌	日置愛子	日置茂伸	福手淳子	藤井正子	藤代敬子
古川篤仙	古川和夫	古田周三	古田峰行	古田義治	古田了
北師会	細江義和	ポップサーカスー宮公演事務局		本田喜市	前畑(株)
松尾栄	松森久子	水谷多喜子	溝川友紀	宮川宣昭	山崎美佐代
山田宏美	山と川の学校	山松マツダ陶器(株)	吉田小PTA花いっぱい運動		吉田小学校
連合岐阜	渡邊敏郎	(株)井澤コーポレーション		(株)織部	(株)シマノ
(株)ショクブン	(株)高垣組	(株)チュチュアンナ	(株)丸東	(株)ヤクルト東海	

編集後記

今回で合掌苑だよりも第2号となりましたが、職員も編集に立ちあうことで行事の振り返りができ、楽しかったことなどを笑い話にできる良い機会となっています。

さて、本誌では合掌苑の一大行事、がらくた市について書かれています。今回のがらくた市も前回同様、東日本大震災復興支援を目的として行われました。東日本大震災より約2年が経とうとしており、世間でもあまり取り上げられなくなりましたが、まだまだ復興には時間がかかり支援を必要としています。そんな中でも合掌苑は多くの人のお力添えで多くの行事もあり、楽しい生活が送れているとつくづく感じています。今後も皆様のご協力に感謝し、東日本大震災復興支援などの社会貢献ができるよう努めていきたいと考えています。駄文ではありますが最後まで読んでいただきありがとうございました。

